

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2203133	キャリア形成 特別講座Ⅲ Career Development Special III	家政学専攻全教員	専門	1	必修	3年集中後期
科目の概要						
<p>キャリア形成特別講座Ⅲでは、家政学専攻での3年間の学修と生活を振り返り、その成果を確認していくことを中心に4年次の卒業研究や就職活動へ向けての準備を進めていく。前・後期に一度ずつ予定されている社会人基礎力外部評価者面談を受け、自身の中での社会人基礎力の成長を確認する。また、4年生の卒業研究中間報告と卒業研究発表会を聴講することで、次年度に行う卒業研究のテーマを固める。そして教員との面談により、4年次の学修計画を明確にしていく。</p>						
学修内容			到達目標			
<p>① 社会人基礎力外部評価者面談を受ける。</p> <p>② 卒業研究発表会・中間報告会及び社会人基礎力学内グランプリを聴講する。</p> <p>③ 現在の単位修得状況とGPAをチェックする</p> <p>④ 今年度の振り返りをし、次年度の目標を明確にする。</p>			<p>① 外部評価者との面談を通じて、自身の中での社会人基礎力の成長と自身の長所・短所を確認することができる。</p> <p>② 先輩の卒業研究の報告から次年度に自身が行う卒業研究のテーマを固めていくことができる。</p> <p>③ 卒業に向けての4年次の学修計画を立てることができる。</p> <p>④ 卒業に向けての4年次の学修計画を明確にし、同級生に伝えることができる。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	事前に自分の考えをまとめてから外部評価者面談に臨むことができる。事前に配布された発表要旨を熟読し、質問や意見を準備して卒業研究中間報告会、卒業研究発表会に臨むことができる。				
	働きかけ力					
	実行力	教員からの指示に従うだけでなく、より高い目標を設定し、授業に取り組むことができる。				
考え抜く力	課題発見力	振り返りシートの記入や外部評価者との面談を通じて、自身の中での社会人基礎力の成長と自身の長所・短所を発見することができる。卒業研究中間報告会、卒業研究発表会の先輩たちの報告から、自身の卒業研究のテーマを考えることができる。				
	計画力					
	創造力	スピーチの準備に際し、複数の案を検討してより良い発表を作るための工夫ができる。				
チームで働く力	発信力	スピーチや面談等で教員や外部評価者の先生に自分の考えをわかりやすく伝えることができる。				
	傾聴力	意見交換の場面で、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	無断欠席、遅刻、授業や報告会・発表会に支障をきたす行為を慎み、円滑な運営に協力できる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
<p>テキスト: 使用しない。必要な資料は各回に配布される。</p> <p>参考書: 授業内で適宜紹介していく。</p>						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連: キャリア形成科目をはじめ、生活スタジオ、卒業研究など、ほぼすべての学科目						
学修上の助言			受講生とのルール			
この科目は家政学専攻3年次1年間の学修を振り返り、4年次の学修が実り大きなものとなるように設定されている。3年次に履修するすべての科目で最善を尽くし、その結果を携えて本科目に臨んでほしい。			人の発表を聴くときや話し合うときは、感じたこと・考えたことを必ずメモするように心がけること。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
小テスト		①	
		②	
レポート	70	①	<p>各回に課された課題について書いたレポート、提出物の内容を評価する。 ※社会人基礎力振り返りシートの評価ポイント…自身の学修行動について客観的に評価し、その改善案が明確に提示されている。 ※卒業研究発表会関連ワークシートの評価ポイント…4年生の研究発表を正確に理解、評価しることができている。 自身の関心と結びつけながら、4年次に自分の行う研究テーマと繋がる課題発見ができている。</p>
		②	
		③	
		④	
		⑤	
成果発表 (口頭・実技)	20	①	<p>今年度の振り返り次年度の目標などをクラス全員の前で発表する。評価のポイントは以下の2点。 ・一年間の振り返りが丁寧になされ、今後の課題が明確に述べられている。 ・スピーチの内容、発表に工夫が加えられており、聴講者に強く訴えることができている。</p>
		②	
		③	
		④	
		⑤	
作品		①	
		②	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	<p>【主体性】事前に自分の考えをまとめてから外部評価者面談に臨むことができる。 事前に配布された発表要旨を熟読し、質問や意見を準備して卒業研究中間報告会、卒業研究発表会に臨むことができる。 【実行力】教員からの指示に従うだけでなく、より高い目標を設定し、授業に取り組むことができる。 【課題発見力】振り返りシートの記入や外部評価者との面談を通じて、自身の中での社会人基礎力の成長と自身の長所・短所を発見することができる。 卒業研究中間報告会、卒業研究発表会の先輩たちの報告から、自身の卒業研究のテーマを考えることができる。 【創造力】3分間スピーチの準備に際し、複数の案を検討してより良い発表を作るための工夫ができる。 【発信力】面談等で教員や外部評価者の先生に自分の考えをわかりやすく伝えることができる。 【傾聴力】意見交換の場面で、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるすることができる。 ※以上の項目について、提出部物と聴講態度から総合的に判断する。</p>
		②	
		③	
		④	
		⑤	
総合評価割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<ul style="list-style-type: none"> すべての授業に積極的な態度で参加している。 各回に与えられた振り返りシート、ワークシート類が詳細かつ丁寧に作成され、期日までに提出できている。 スピーチの内容、発表に工夫が加えられており、聴講者に強く訴えることができる。 <p>上記項目に加え、ワークシート、スピーチの内容、発表ともに極めて優秀であると認めた場合にS(秀)評価とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> すべての授業に出席している。 各回に与えられた振り返りシート、ワークシート類が条件通りに作成され、期日までに提出できている。 スピーチの内容、発表に工夫が加えられている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	社会人基礎力外部評価者面談1 ① 知識、技術の習得に社会人基礎力をどのように発揮しているのか ② 卒業後、どのような職業に就き、どんな社会貢献をしたいのか ③ そのためにどんなことに興味を持ち学んでいるのか について外部評価者の先生に話し、アドバイスを受ける。	面談	中間の振り返りシートを記入し、期日までに提出できる。 社会人基礎力外部評価者面談に主体性をもって臨むことができる。	(予習) 中間の振り返りシートを記入する。 (復習) 面談の内容を振り返り、今後の学修、生活の方針を考える。	120 60	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
2週 3週 4週 /	卒業研究中間報告聴講 4年生が行う卒業研究の中間報告を聴講する。	聴講	真摯な態度で卒業研究中間報告の発表が聴講できる。	(予習) 中間報告発表要旨を読んで、発表される研究の内容を確認しておく。 (復習) 関心を持った研究内容を再度確認し、自身の卒業研究テーマを考える。	120 60	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5週 6週 /	社会人基礎力学内グランプリの聴講 全学的に行われている社会人基礎力の育成をテーマとした活動の発表会を聴講する。	聴講	真摯な態度で社会人基礎力学内グランプリの発表が聴講できる。	(予習) (復習)	120 60	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	社会人基礎力外部評価者面談2 ① 知識、技術の習得に社会人基礎力をどのように発揮しているのか ② 卒業後、どのような職業に就き、どんな社会貢献をしたいのか ③ そのためにどんなことに興味を持ち学んでいるのか について外部評価者の先生に話し、アドバイスを受ける	面談	事後の振り返りシートを記入し、期日までに提出できる。 社会人基礎力外部評価者面談に主体性をもって臨むことができる。	(予習) 事後の振り返りシートを記入する。 (復習) 面談の内容を振り返り、今後の学修、生活の方針を考える。	120 60	
8週 9週 10週 /	卒業研究発表会の聴講1 4年生が行う卒業研究の発表を聴講する。	聴講	真摯な態度で卒業研究の発表が聴講できる。	(予習) 卒業研究発表要旨を読んで、発表される研究の内容を確認しておく。 (復習) 関心を持った研究内容を再度確認し、自身の卒業研究テーマを考える。	120 60	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
11週 12週 13週 /	卒業研究発表会の聴講2 4年生が行う卒業研究の発表を聴講する。	聴講	真摯な態度で卒業研究の発表が聴講できる。	(予習)卒業研究発表要旨を読んで、発表される研究の内容を確認しておく。 (復習)関心を持った研究内容を再度確認し、自身の卒業研究テーマを考える。	120 60	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	1年間の振り返りと次年度の履修計画 次年度の目標のスピーチ	レクチャー セルフチェック スピーチ	3年次の振り返りと4年次の目標をスピーチできる。	(予習)3年次までの単位習得状況を確認しておく。 (復習)4年次の履修計画を立て、シラバスでその学修内容を確認する。	60 120	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	卒業研究ゼミの担当教員面談	グループ面談	卒業研究の研究計画を立てることができる。	(予習)研究テーマ案を再確認しておく。 (復習)先行研究を調査し、研究の対象と方法の妥当性を探る。	60 120	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力